

令和5年度仙台土木事務所職場研修 (特別編)「高性能ポリマーセメント モルタルによる橋梁耐震補強工事」を 開催しました。



令和6年3月22日
宮城県仙台土木事務所

【開催概要】

一級河川吉田川に架かる国道346号の品井沼大橋では、現在、P5 橋脚の耐震補強として、河川阻害率を抑えるため、高性能ポリマーセメントモルタル(SPCM)吹き付けにより施工しています。

当工法は、耐久性に優れており、通常のコンクリート巻立てによる増厚幅 $t=250\text{mm}$ に対し、増厚幅 $t=102\text{mm}$ と非常に薄いことが特徴です。

経済性では通常のコンクリート巻立てには劣るものの、炭素繊維や鉄板による補強よりも安価であり、施工日数の大幅な短縮が可能で、施工時期が限定される場合などに有効な工法です。

今回の研修は、施工の連続性や粉塵等の影響により吹き付け状況の見学が難しいため、施工完了後の状況確認となりましたが、施工段階ごとのテストピースや、施工時の動画等により、研修を実施しました。

【実施日時等】

- ・日 時：3月21日(木)午後2時から午後3時
- ・会 場：品井沼大橋耐震補強工事施工現場
(国)346号 品井沼大橋 (松島町幡谷地内 吉田川)
- ・参加者：7名(仙台土木事務所7名)
- ・講 師：株式会社深松組 現場代理人兼監理技術者 佐藤正芳 外

【研修内容】

1. 座学

- 橋梁巻立工の施工について
 - 橋梁補修・補強について
 - 橋梁耐震補強について
 - 材料・テストピースについて



2. 現場

- 橋梁巻立工完了状況について
 - 概況の見学
 - 巻き立厚さの確認



【研修の状況】

SPCM について、テストピースや動画等により、物質的・施工的な特性が理解しやすい内容となっており、大変好評でした。当事務所としては、新工法や特殊工法等を実務に生かせる職場研修について、積極的に開催してまいります。

○問い合わせ先

宮城県仙台土木事務所 道路部兼河川部 企画担当

TEL:022-297-4153

E-mail:sddb@pref.miyagi.lg.jp

HP : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/>

